

アライグマ専用捕獲器の開発

特定外来生物に指定されているアライグマは全国的に増加傾向で、農作物にも大きな被害を及ぼしています。従来の捕獲器ではネコなどの中型動物が誤って捕獲されてしまうことがあり（錯誤捕獲（さくごほかく））、アライグマの捕獲効率が低下する事例が多く見られていました。

農業技術研究センターでは、アライグマは他の動物と比べて前肢を器用に使う特性を活用し、アライグマだけが作動させることができる筒形のトリガー（起動装置）を開発しました。

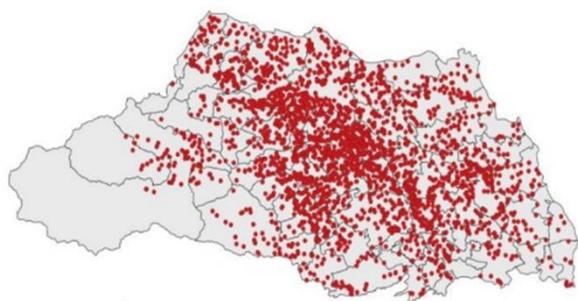


図1 埼玉県内におけるアライグマ捕獲場所
(令和2年)

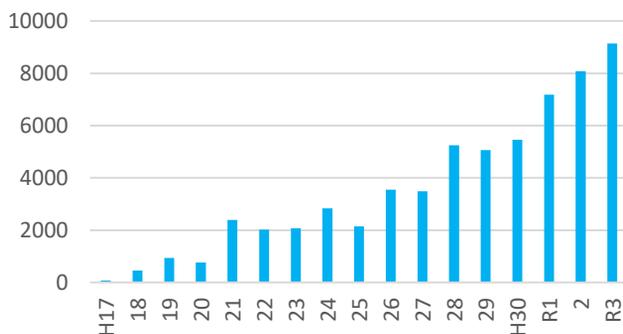


図2 アライグマ捕獲頭数の推移
(県環境部みどり自然課提供)



＜実験用トリガーによる行動調査の様子＞

写真1 アライグマ

筒の奥まで前肢が届き、えさを
取ることができる。

写真2 ネコ

前肢が筒の奥まで入らず、
えさを取ることができない。

写真3

開発したアライグマ捕獲器
(檻の内部右側にトリガー設置、アライグマがえさを取る動作をすると左のふたが開じる仕組み)

このトリガーを使用して錯誤捕獲を防止し、アライグマを「立たせて」捕獲可能にした縦長のコンパクトな捕獲器を（有）栄工業（箱わな製造会社）と共同開発、製品化しました。（令和3年8月特許登録 第6935656号）

なお、野生動物の捕獲にあたっては免許・許可が必要な場合がありますので、最寄りの市町村及び環境管理事務所にお問い合わせください。